

SHIMIZU

まちに気づく・まちを築く・とかち清水

—— 想いをミライに繋ぐまち ——

●特集●

わたしたちの「普通」は、
誰かにとっての『特別』だった。

●表紙●

カタルからの帰国中
に保育園留学に来た
菅野さんファミリー

AUG. 2024

広報しみず

08

No.786





特集

わたしたちの「普通」は、誰かにとっての『特別』だった。

1,262万世帯

この数字は、日本の『共働き世帯』の数です。その数は毎年増え、「働く夫と専業主婦の世帯」の2倍以上にのびります[※]。

共働き世帯のなかでも、子を持つ世帯は、保育施設に子どもを預けることになりませんが、清水町でも子どもを預ける世帯が増えています。毎年子どもの出生数は減っていますが、3歳未満の子ども園への入園数は増えているという状況があります。

「子育てのしやすい町」と耳にすることがあると思いますが、「子育てのしやすい」とは、どのような状態を言うのでしょうか。

例えば、住む地域の子育て支援によって保育料が無償でも、子どもを預けられなければ意味がありません。もし兄弟姉妹で預け先が違えば、送り迎えにかかる時間なども増えてしまいます。

このように、住む地域によって子育て環境は大きく違っていて、わたしたちが住む清水町では「普通」だと感じることも、一歩外へ出てみると『特別』なことなのかもしれません。

保育園留学の流れ

1 留学先を選ぶ

40園の留学先のなかから、行きたい地域を選びます。

2 予約する

ウェブサイトから留学先のプランを予約します。清水町は1週間プランと2週間プランを用意しています。

3 オンライン面談

しみず認定こども園ぼっけの副園長と面談し、アレルギーなどの確認を行います。

4 留学先へ行く

清水町では、留学用の移住体験住宅で、子ども主役の暮らし体験がスタートします。

子育て環境の違いを生かす“保育園留学”



住む地域によって子育て環境は違うため、子育てをめぐる課題も地域によって異なります。

清水町は、緑に囲まれた大自然のなかで、随時こども園へ子どもを預けられませんが、少子化が進むと、こども園の運営が難しくなることが考えられます。一方日本の中心地には人口が集中し、保育施設へ預けられず仕事を諦めたり、子どもがのびのびと走り回れる環境が少なかったりします。

そういった子育て環境の違いに着目した『保育園留学』に、今、子育て世帯の注目が集まっています。

保育園留学は『1〜2週間家族で地域に滞在する、子ども主役の暮らし体験』で、株式会社キッチハイクが立ち上げた新しいまちづくり事業です。2021年に北海道厚沢部町の認定こども園はざるから始まり、今までに約1,000組以上の子育て世帯が保育園留学を体験しています。

昨年、しみず認定こども園ぼっけも受け入れ開始

保育園留学の受け入れ先として「しみず認定こども園ぼっけ」も手をあげ、昨年6月から受け入れを開始しました。現在、40園の留学先があるなかで、清水町はすぐに予約が埋まるほど、子育て世帯のみならずが国内外から清水町を訪れています。

今回は、保育園留学に来たみなさんが、実際に清水町でどのように暮らし、何を感じているのかや、保育園留学に関わるみなさんの声をお届けします。

※出典：「令和5年版厚生労働白書」(https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/index.html)

運営会社が感じる 留学先としての魅力

清水町は、住民のみなさんの協力体制が1番の魅力だと考えています。留学されたご家族からも「地域交流を通して魅力を体感した」というコメントをたくさんいただいています。町全体で保育園留学に向き合い、関わるみなさん一人ひとりが自分ごととして捉え、より良いものを作り上げていこうという熱い想いを持っていること、それが清水町の魅力であり、同時にたくさんのご家族に届いているのだと感じます。

(株)キッチンハイク 清水町担当
穴戸 野乃香さん

しみず留学エピソード

子どもがのびのび過ごすことができ、空港に着いた際に戻りたいと泣くほどでした。自分たちの暮らしを変えるきっかけになり、地方移住を考えるようになりました。(高橋 裕太郎さんファミリー／東京都)



留学をやりきった達成感、遠くに友達がいるという充足感、もっとたくさんの地域を知りたいという意欲が湧いているようです。留学から戻ってきてから感じる気持ちまで、全部が子どもの財産になっています。こども園だけでなく、清水町のことも



家族みんな大好きになりました。(嶽ゆりさんファミリー／東京都)

ご近所の方がお菓子をおすそ分けしてくれたり、雨が降りそうだからと傘を貸してくれる方がいたり、住民の方々がとても温かく迎えてくださいました。保育園留学中は、清水町民になって暮らしている感覚でした。(鈴木 奈視子さんファミリー／千葉県)



季節で楽しめる登園



暖かい季節は、移住体験住宅に備え付けの電動自転車で登園。



雪が降る寒い季節は、移住体験住宅に備え付けのソリで登園。

子どもはこども園へ 大人は移住体験住宅で リモートワーク

保育園留学用の3つの移住体験住宅には、Wi-Fiが完備されています。ワークスペースとして十分な大きさのカウンターが付いているので、リビングと空間を分けてリモートワークができます。



清水1号 (南4条西3丁目1)

(株)良品計画がフルリノベーションを手がけた無印良品家具住宅。



清水3号 (北1条2丁目1-3)

無印良品の家具・家電で、トータルコーディネートされた住宅。



清水5号 (南4条西3丁目1)

キャットウォークなどが付き、ペットと快適に暮らせる住宅。

町のみなさんがご家族をあたたかく迎えてくれている

りましたが、保育園留学によって、今まで絶対に来なかった方々が町に来て、町を好きになって帰っています。「清水町に来て良かった、好きになった」と言ってくれていて、こんなにうれしいことはないですね。特に、「町のみなさんのあたたかさ」に魅力を感じている方が多いです。わたしたちの知らないところで、町のみなさんが、保育園留学に来たご家族をあたたかく迎えてくれていて、とても有り難いです。

住んでいる地域に帰られてからも、友人や会社の人に清水町のことを宣伝してくれたり、ふるさと納税をしてくれたりと、町を好きになった人が、新しい人を呼び込んでくれています。こうした縁がつづいていくように、また会える機会を積極的につくっていきたいです。

保育園留学では、お子さんがこども園に通っている間、保護者の方は移住体験住宅で普段と変わらない仕事をします。実際に1、2週間生活して「こういう暮らしもあるのだな」と、清水町での暮らしを実感してもらっています。

わたしたちは生活全般のサポート役として、気軽に相談できる関係性づくりや地元ならではの情報を伝えるようにしています。地域食堂や野菜市などの地元イベントを通して、町の人たちの暮らしを味わってもらいたいと思っています。

移住定住を進める際に、子育て世帯の方々に来てもらいにくいという課題があ



清水町役場商工観光課
主査 高橋 勇生さん



酪農体験アクティビティ

保育園留学で人気の酪農体験アクティビティ。西山牧場でオーバーオールに着替え、子牛の哺乳などを行います。岩崎さんは「当たり前前に牛乳を買っていましたが、これだけ苦労して搾乳されたものだったのだと、大人も「いただきます」の意味を考えさせられました」と話してくれました。



町の人の見守りながら清水公園ボートに乗り



ひより日和ちゃんと花火のマネをするるりちゃん
同じクラスの

お金を払って入るような公園が無料

岩崎さんによると「清水公園も中央公園も、東京だとお金を払って入るような公園です。広くて芝生がきれいで無料で、夏も外で走り回れるのは子どもにとって本当に良い環境。これが普通にあるのはすごいです！子どもたちは感動しっぱなし」。また、隣町の花火大会にも行ったそうで、「東京は混雑して子どもは何時間も耐えられませんが、親の上に座って芝生にごろんとしながら、視界いっぱい花火を見るのは新鮮でした」と話してくれました。

西山さんちのばあちゃんとして牛のことを伝えていけたら



西山牧場
西山 幸子さん

子どもたちは、子牛とかがいると喜びるので、「良いよ良いよ」という気持ちで保育園留学の酪農体験アクティビティを引き受けました。今まで来たみなさんは子牛の力強さに驚いたり、牧場や畑の景色を見て、すごく感動されていますね。実際にこども園に通って過ごせるというのは、いつもと違う経験ができて良いと思うので、保育園留学が今後も続けば良いなと思います。一度来た子が何年か経って大きくなって、また訪ねてくれたらうれしいですね。身体が動くうちは、「西山さんちのばあちゃん」として、酪農体験を通して牛のことを伝えていけたらと思っています。



みんなで虫をとる

こども園の 広さが尋常じゃない

「東京はビルの一室が保育園になっていることも多くて、園庭がないことも。あったとしても、このこども園の比じゃないです。この広さは尋常じゃない！」と話す岩崎さん。るりちゃんは、こども園のお友達と一緒に園庭を走り回って虫を捕まえていました。



岩崎さんファミリー

東京都在住
父：如成さん（40代／会社経営）
母：かろなさん（30代／会社員）
子：るりちゃん（5才）
子：照くん（3才）

困っている人を助けるカルチャーが、この町にあると感じました。

飛行機で1時間半
車が無くても生活できそう

幼稚園の夏休みに、自然を感じられる避暑地に行きたくて北海道を候補にしていました。保育園留学コンシェルジュの方から、清水町は車が無くても生活できると聞いて「夏の北海道に行けるの?！」とテンションが上がってすぐに決めましたね。子どもと一緒に、飛行機1時間半でさつと来られるところも良いなと思いました。

自分たちの実家も東京なので帰省がなくて、自然を体験しに行っても観光になりがちですが、保育園留学は「住む」体験ができてすごく良いです。自分たちで家事をして、毎日同じところに寝て、というのを2週間くらい過ごさないと、実際の暮

らしは味わえないと思います。

町のみなさんが優しくて
子どもを大事にしている

清水町は人が優しいです。まず、来る前から役場職員の方がとても親身になってくれましたし、来てからも、移住体験住宅のお隣さんから手作りのおかずをもらったり、公衆浴場へ行ったらときに忘れ物をしたら、そこに居た方が貸してくれたり、町のみなさんの優しさをすごく感じています。

こども園の園児たちもすごく社交的。当たり前前に子どもたちを受け入れてくれて、有り難いです。「これはこっただよ〜」とか、新しい子に教えてあげる習慣が身に付いていて、困っている人を助けるというカルチャーが、この町にあるのだと

感じました。東京だと、声をかければ助けてくれそうですが、ここでは「助けて」と言わなくても、あたたかく迎えていただいています。町のみなさんが、子どもを宝だと思ってくれている風潮もある気がして、子どもに優しく、大事に大事にしている感じがします。

清水町に来て子どもの
遊び方が変わった

雨の日、お家の屋根からポタポタ落ちる雨の下にもぐって、子どもたちが楽しそうに雨の音を聞いて遊んでいました。東京では絶対にやらなかったことなので、そういう姿を見るだけでも幸せですし、ここでは自分自身も時間に余裕があって、ゆっくり人と話したりとか、ぜいたくな時間が流れていますね。

東京都から、2週間プランの保育園留学に来た岩崎さんご家族。違う地域から来たからこそ感じる『ここで暮らす人、ここでの暮らし』について話していただきました。

もつと心にゆとりを持って、子育てできるような気がします。

カタールから、1週間プランの保育園留学に来た菅野さんご家族。カタールの前は神奈川県に住んでいた菅野さんに、関東圏との子育て環境の違いを話していただきました。



菅野さんファミリー
カタール駐在
父：立基さん（40代/会社員）
母：幸さん（30代/会社員）
子：吏巧くん（6才）

夏に外で遊べる北海道へ 清水町の利便性にびっくり

今住んでいるカタールは暑い砂漠の国なので、息子の吏巧くんが自然と触れ合える機会がなくて。せっかく日本に帰国するなら、自然と触れ合いながら日本人のお友達と思いつ切り遊んで欲しいなという思いが強くて、保育園留学をしようと思いました。

夏に外で遊ぶことを考えたら留学先は北海道が良いなと思ったのと、母親と息子の2人で来る可能性があったので、車がなくとも生活できそうな清水町を選びました。実際に来てみると町のスーパーマーケットで何でも揃うのにびっくりしました！関東圏だと何軒も回って物を揃えることもあるので、町の利便性に驚きました。

先生の対応や園児の雰囲気 が親の安心につながった

保育園留学初日に、お迎えに行ったとき、先生が息子の写真を撮ってくれていて、写真を見せながら様子を細かく教えてくれて、それがすごく、わたしたちの安心につながりました。

園児たちもウェルカムな雰囲気を出してくれて、息子がすぐ馴染めた感じがありました。きっと子どもたちも楽しいのだろうなというのが伝わってきましたね。「今日また新しい子が来たよ」という風土が根付いているのだなと感じました。

こども園に自分で連れて 行けるのも大きな違い

カタールの前は神奈川県に住んでいました。通っていた幼稚園には駐車場が無かったので、

清水産食材をふんだんに使った給食

こども園の給食は“手作り”にこだわり、清水産食材を積極的に使っています。「化学調味料は一切使わず、カレーも小麦粉から手作りです」と話す調理士の伊藤さん。栄養士の横田さんは「アレルギーに対応できるよう、米粉なども使っています」と話してくれました。給食を食べた吏巧くんは、苦手意識のある食べ物を「全部食べられた!」と両親に報告したそう。また、園内にはその日の給食見本が置かれ、内容を実物で見られるようになっています。



いつだってウェルカムな園児たち

園児たちは、いつだって新しいお友達をニコニコの笑顔で迎え入れてくれます。登園初日からクラスみんなに溶け込んだ吏巧くん。水遊びのときには、同じクラスの紅羽くんと何色の水を混ぜようか相談しながら遊んでいました。



おむかえテイクアウト

おむかえテイクアウトは、いつもとは違う環境で料理をするのが大変という保育園留学の方に向けて、子どものお迎え時に、おかずに受け取れるサービスです。このサービスを提供する、ごはん屋ゆめあとの佐々木さんは「せっかく清水に来られるので、できるだけ地元食材を味わえるメニューにしている、お子さんが喜びそうな可愛らしい仕上がりになっています」と話してくれました。



ご自分の地域にはないものを感じてもらいたい

保育園留学と初めて聞いたときは「園児が留学してくるの?」と思いましたが、詳しく聞いてみると、違う地域の方に清水町のことをわかってもらえる良い機会だと感じました。町の人口がどんどん減っている中で、短期間であれ町に来ていただいて、まずはご自分の地域にはないものを感じていただきたいですね。そして、清水町で体験したことが良い思い出になって、お子さんが大きくなったらときに「そういえば小さい頃に清水町に行ったな、また行きたいな」と、何かのきっかけで寄ってくれたら、もつと而言えば、将来この町に住みたいなのと思ってくれたらうれしいです。



ごはん屋ゆめあと
佐々木 千里さん

まちに起きているプラスの効果

しみず認定こども園の寺岡園長は、保育園留学は「受け入れ側のメリットの方が大きい」と話します。
清水町やしみずっ子たちに、今どのようなプラスの効果が起こり始めているのかを、
こども園の先生や保護者みなさんなどにお聞きしてきました。

阪口 こども園の園児たちには「この日からこういうお友達が来るよ」と事前に名前を伝えていて、わくわく感を持てるようにしています。事前に伝えておくと、保育園留学の子が来たときに「あ！なににくん！」と声をかけてくれる子もいます。

小林 私も事前に伝えるようにして、4歳児だと質問ができるので、「どうやって来たの？好きな食べ物はない？」と、お互いを知る時間をつくっています。

阪口 今年から保育園留学の受け入れクラスを担当しているのですが、子どもたちの思いやりが育まれているなど感じます。「初めて来る子だからきつと緊張しているよね」ということがわかっていて、だからこそ、優しく声をかけたり、生活の手順を教えてあげたり、3歳児なりに考えながら行動してくれています。それは、保育園留学の子が来

てくれたからこそ、見た成長だと思っています。
小林 「リードしてあげよう、手伝ってあげよう」という気持ちです。すぐく見られて、こども園の先輩になろうとしている



しみず認定こども園保育士 阪口 知世乃さん
しみず認定こども園保育士 小林 和奏さん

ます。お別れのときの寂しい気持ちも味わって、出会いもあれば別れもあることを知れる良い機会になっています。
阪口 いろいろな気持ちを経験することで、間違いなく、

園児たちの成長につながっていて、より心が豊かになっているなと思っています。

小林 保育園留学に来た保護者の方からは、「町の人のあたたかみを感じた」と、よくお聞きします。そういった話を聞いて、わたしもより人のあたたかみを感じたり、紹介したい場所やグルメが増えたり、すごく誇れる町だなと思うようになりました。わたしは中学生まで清水町にいたのですが、この町に戻りたいと思った理由とあらためて結びつくものがありましたね。

阪口 保護者の方に、こども園の良さを伝えていただく機会が本当に多くて、自分たちがこんな良い環境で保育ができていたのだと気づかされます。清水町で保育ができる良さや、こども園の良さを存分に生かして、町の良いところをもっと子どもたちに伝えていきたいなと思うきっかけになりました。

保育園留学は 保育の質を 高める一因

園児だけでなく、園全体にとつてのメリットがたくさんあると感じたのが、保育園留学に期待した部分です。園の先生たちは、もと

もと向上心が高く、「もっと良い保育を」という志を持って、園児一人ひとりに丁寧に関わり添っています。そこに、保育園留学に来た方から保育の評価を受けることで、ここにいたら当たり前になっているものの良さを直したり、改善につながったりと、先生たちが目指す保育に近付けるのかなと思えました。もし、評価が良ければ「自分たちの保育が間違いないやなかった」と、自信や励みにもなりますしね。

園児たちも、保育園留学の子たちに優しく思いやり



しみず認定こども園 園長 寺岡 淳子さん

を持って接していて、保育目標の「元氣な子・優しい子・頑張る子」に向かってしっかり育っているのだなと再確認しました。保育園留学が、こども園の保育の質を高める一因になっていると実感しています。
「清水町は、こんなに緑が多いですね」と、保育園留学に来た方から言っていたのですが、お散歩に行くだけで季節の草花に出会えることが当たり前だと思っていたので、『意識せずとも自然の恵みを受けて育つのが、この良さ』だと、わたしも気付かせてもらいました。

みなさんの 第2のふるさと のような場所

「清水町に住む人や暮らし」を資源にした滞在時間の長い観光を目指して、ま

ちまるごとホテルなどに取組んできましたが、子育て世代が来づらいうという課題がありました。保育園留学は、清水町で仕事をしながら子どもを預けられるので、子育て世代のみなさんがよりスムーズに来られるようになっていきます。みなさん子どもに良い体験をさせたいという想いが強いので、町内の飲食店を制覇するなど、町の経済循環も高まっていると感じます。

また、保育園留学最大の特徴は『清水町のことを好きになって帰ってくれる人が多い』ところ。もともと道外にしか知り合っていない方々に、清水町



清水町役場商工観光課 課長 前田 真さん

という第2のふるさとのような場所ができて、実際に保育園留学に来た方々が、自身の体験談として、清水町の良さを雑誌やSNSで紹介してくれています。今後さらに社会のデジタル化が進めば、住む場所を選ばない時代になってくると思います。例えば東京都に拠点を置きながら、夏の間は清水町で生活したり、その逆もあつたり。清水町が目指す観光の姿とは、豊かな自然と美しい農村の景観、それらを守り育む生産者、住民の生き方など、普段の暮らしや新たなつながりを感じる「ライフスタイルツーリズム」にあると思います。

保育園留学体験談が新たな「つながり」に

清水町に保育園留学に来た漫画家の蒼井まもるさんが「たのしい幼稚園7・8月号」と「おともだち8・9・10月号」で、自身の体験談を紹介してくれました。初めて清水町に来た人目線での出来事や、お子さんの心の動きなどが描かれています。蒼井まもるさんは、2023年講談社漫画賞を受賞した「あの子の子ども」を別冊フレンドにて連載中の漫画家さんです。



偶然にも学生時代の同級生が保育園留学に来ていて、こども園から帰った後の時間も一緒に過ごすことができました。違う環境で育った子と関わることで、娘の良い刺激になっていて、特別な経験ができているようです。

(鴨川みゆきさん・結莉亜ちゃん)



新しいお友達に来る度に楽しそうに教えてくれるので、すごく良い経験になっています。ずっと同じ仲間と育つので、新しい子との関わり方だったり、その子が好きなものに興味を持ったり、視野が広がっているなと感じます。

(鈴木沙紀さん・結羅ちゃん・麻比瑠ちゃん・琳華ちゃん・愛依紗ちゃん)



あたらしい
お友達
また来てね～！



祝 新一万円札発行

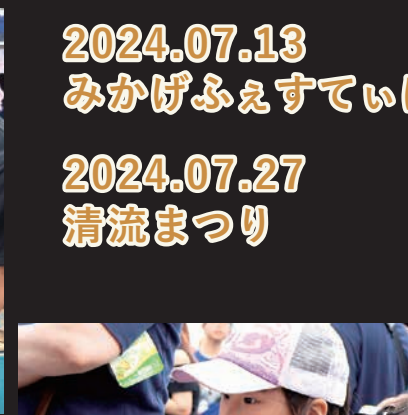
7月3日、ついに新紙幣が発行されました。渋沢栄一ゆかりの地として、新紙幣発行に合わせて様々な記念事業を行いました。



しみずの夏祭り

2024.07.13
みかげふえすていばる

2024.07.27
清流まつり



記念式典

7月3日、新一万円札発行記念式が開催されました。町内外から約300人が出席し、新紙幣発行をお祝いしました。式典では、新一万円札のお披露目や、トークセッションを実施し、来場者には「渋沢栄一」の焼き印が入ったどら焼きなどの記念品を進呈しました。

農場畜舎等ライトアップ

渋沢栄一の生家が藍玉の生産農家だったことから、十勝開墾会社農場畜舎（渋谷農場）、寿光寺、大勝神社、役場庁舎を藍色にライトアップしました。



1. 新一万円札を披露する北洋銀行清水支店の矢萩支店長と阿部町長
2. お祝いのくす玉開きに参加した町内の児童・生徒たち
3. 「新一万円札発行を契機に」トークセッションの様子
4. 藍色にライトアップされた十勝開墾会社農場畜舎
5. 協定書を取り交わす深谷市の小島市長と阿部町長
6. 植樹をする清水町と東京都北区の児童たち

深谷市との連携協定

7月8日、渋沢栄一を縁に交流を重ねてきた埼玉県深谷市と、渋沢栄一の精神を生かしたまちづくりや青少年交流、災害時の相互協力などを推進する「持続的な社会を築く連携及び協力に関する協定」を締結しました。

植樹祭「友好の森事業」

7月14日、渋沢栄一を縁に協定を結んでいる東京都北区の児童や町民計150人が、清水公園横の町有地に約800本の苗木を植樹しました。町はこの土地を北区との「友好の森」とし、今後も森林整備を進めていきます。

その他記念事業の詳細については、清水町のホームページでご覧いただけます。





日ハムのあの人気キャラクターが清水町に ファイターズサマーデイズ in 十勝

7月5日、北海道応援大使プロジェクト事業の一環として「ファイターズサマーデイズ in 十勝」がしみず認定こども園で開催。マスコットキャラクターのB・Bとファイターズガールが園児たちと交流しました。



御影中学校3年生の入澤和叶さんが発案 まちおこしフェスティバル開催

7月15日、御影公園多目的広場で、まちおこしフェスティバルが開催されました。このイベントは、御影中学校3年生の入澤和叶さんが、町の良さを多くのみなさんに知ってもらいたいという願いを込めて発案。家族で楽しめるよう、幅広い種類のキッチンカーが全道各地から集結しました。



ホクレン農業協同組合 連合会へ感謝状贈呈

7月5日、ホクレン農業協同組合連合会に、企業版ふるさと納税による寄付への感謝状を贈呈しました。感謝状を受け取った同会帯広支所長の清澤博明さんは「町の発展へつながるよう活用していただきたいです」と話しました。



養豚振興会が 豚肉40kgを無償提供

7月2日、清水町養豚振興会が給食センターへ豚肉40kgを無償提供しました。同会幹事の荻田貞行さんは「給食を通じて、子どもたちに地元の豚肉が美味しいと思ってもらえるのが、一番うれしいです」と話しました。



清水小学校6年生が 人権について学習

6月26日、清水小学校6年生を対象とした人権教室が開催されました。町の人権擁護委員4名が小学校を訪れ、ちょっとしたきっかけでいじめが始まってしまうことの怖さや、思いやりのある行動の大切さなどを伝えました。



清水陸上少年団所属の 4名が全道大会へ出場

清水陸上少年団の（左から）清小5年 杉山果也さん、同5年 細田陽斗さん、同5年 土屋かれんさん、同5年 佐藤美奈さんが、第42回北海道小学生陸上競技大会で好成績を収め、全道大会へ出場するため教育長を表敬訪問しました。



十勝陸上クラブ所属の 3名が全道大会へ出場

十勝陸上クラブの（左から）清小6年 高薄翔さん、御小6年 吉田光希さん、御小5年 門木嗣夢さんが、第42回北海道小学生陸上競技大会で好成績を収め、全道大会へ出場するため、教育長を表敬訪問しました。



第22回せせらぎ 夏祭り開催

7月7日、特別養護老人ホームせせらぎ荘で、第22回せせらぎ夏祭りが開催されました。雨天により、施設内での開催となりましたが、利用者みなさんはご家族たちと楽しい時間を過ごされていました。



これからの更なる活躍を願って—— 新卒・Uターン等新規就業者激励会

7月2日、令和6年度 清水町新卒・Uターン等新規就業者激励会が開催されました。パートナー部門（農業部門）として出席した白川妙さんは「酪農の仕事もそれ以外の仕事も、夢や希望を持って続けていきたいと思いました。今後は、パートナーと一緒に目標を見つけていきたいです」と話しました。

町内小中学校への啓発活動を実施 「社会を明るくする運動」団結式

7月1日、保護司と更生保護女性会のみなさんによる「社会を明るくする運動」の団結式が行われました。更生保護女性会長の中河つる子さんは「町内小中学校へティッシュ配りを行いました。こういった啓発活動を通して理解を深めてもらって、明るく元気に過ごしてもらいたいと思います」と話しました。





小学生たちが普段体験できないことに挑戦！ チャレンジクラブキャンプ実施

7月26日から27日、チャレンジクラブキャンプを少年自然の家で実施しました。小学生16名が参加し、川遊びや火おこし体験を行いました。普段体験できないことにチャレンジし、楽しんでいる様子でした。また、希望者は少年自然の家に宿泊し、カレーライス作りや五右衛門風呂体験、キャンプファイヤーなどを行い、盛りだくさんな2日間となりました。



第37回 消火技術研修会開催

7月26日、清水消防署で第37回消火技術研修会が開催され、54名の町民らが参加しました。現場で働く消防職員から直接、応急手当の方法などを学び、消火器を実際に使用する体験や煙体験も実施されました。



清水交通少年団が 交通安全キャンペーン

7月19日に日勝峠で、清水交通少年団が、町に訪れるドライバーに自作のメッセージカードと飲み物を配布し、交通安全を呼びかけました。団員の杉山果也さんは「渡す時に少し緊張したけど楽しかった!」と感想を話しました。



第66回ホルスタイン 共進会開催

7月13日、町畜産研修センターで、第66回清水町ホルスタイン共進会が開催されました。34頭が出品され、今回グランドチャンピオンに輝いたのは、写真の有限会社田中牧場「エリー スマイル ユニキュア ET」でした。



26名が大人の修学旅行を満喫 しみず学園修学旅行を実施

7月16日から17日に、しみず学園修学旅行を実施しました。1日目は北海道ボールパークと花ロードえにわを見学して、朝里川温泉に宿泊、2日目は小樽市総合博物館と小樽運河を見学しました。2日間とも天候に恵まれ、参加者26名は旅行をとおして親睦を深めました。

陸上、バドミントン、水泳、柔道、バレーボール 町内中学生6名が各種競技で全道へ

7月22日、各種競技で全道大会に出場する中学生6名が教育長を表敬訪問しました。前列左から篠原奏さん(清中3年/陸上)、大西璃衣さん(清中3年/水泳)、番匠華乃さん(清中3年/バレー)、後列左から岩佐迅さん(御中3年/陸上)、伊藤快さん(清中3年/バドミントン)、藤谷俊輔さん(清中3年/柔道)。



スローガンは「今しか出来ない青春を！」 清水高校で「第77回清高祭」開催

7月6日から7日、清水高校の学校祭「第77回清高祭」が開催されました。一般公開の時間には、一つの教室をまるごと使ったクラス展示や、茶道部によるお茶会などが催され、多くのお客さんが来場しました。また、食品ビジネス系列生徒によるピザ販売の利益が、後日清水町へ寄付されました。同校生徒を代表して教育長のもとを訪れた松久楓磨さんは「図書購入費として活用してもらいたいです」と話しました。



誕生 / Birth

松田 莉依ちゃん(亮太さん・千佳那さん) 鉄南(清水)

哀悼 / Condolences

梅本 和雄さん 富士
小林 スミ子さん 新栄
川原 忠さん 清和1



「清水町観光協会 Instagram」では、まちのグルメやイベント情報、各地物産展の案内などをお届けしています！

清水町公式 Instagram では、イベント情報・子どもたちの活躍・景色・特産品など、清水町の推しポイントを投稿しています。「#推しみず」で、わたしたちと一緒にまちを推しましょう♪



「清水町地域おこし協力隊 Instagram」では、まちの協力隊たちが、イベント動画や日常風景などをお届けしています！

畑でレストラン 2024

7月21日、1日限りの「畑でレストラン」が、あすなろファาร์มィング(村上牧場)の圃場^{ほじょう}で開店され参加した。この催しは、過去にコープさっぽろ農業賞を受賞した生産者の畑で開店されるもので、今年は全道12カ所で開催されている。あすなろファาร์มィングは、2021年度の第11回農業賞(知事大賞)を受賞している。今回の「畑

でレストラン」は、新得町出身の小川シェフが腕を振るったスペシャルランチコースが提供された。清水町で生産された十勝若牛サーロインのコトレッタ、若どりのポテトリゾットなど……美味しいものが次々と！食の町として、名高い清水町。その源流は、このあすなろファาร์มィングにあると強く感じた。ごちそうさまでした。



レストラン会場で、あすなろファาร์มィングの村上兄弟と

春休みに思わぬ孫の訪問なり

成長まぶし涙の握手 森山ヤヨイ

九十才今更ながら我が人生

十四才にして軍人となり 宗像三郎

法要の迫りてくるに伸びる雑草^{くさ}

身を労りつ除草の日課 田村徳子

大輪のバラ色とりどり初夏のなか

風にさそわれ花びらちらす 村谷三恵

車窓より米処いまや小麦畑

時代の流れか米離れかと 宇野忠義

ひとり故トマト一本庭の隅

さみしくないよと鳥のさゝやく 藤原静子

おなじ頃となり合せに植えし株

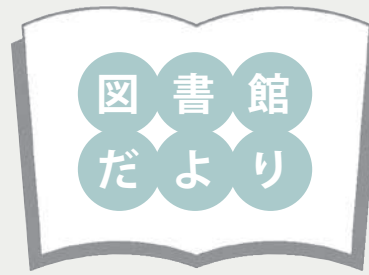
ひとり見ている芍薬の花 大石 尚

温暖化に早くもアヤメや赤百合と

咲きて水無月の庭を彩る 安済哲子

杳き日のアカシヤの唄まなうらに

雨のごと咲く旅の道ゆく 橋本佳代子



9月の図書館・郷土史料館利用案内

開館時間	10：00～18：00
休館日	毎週火曜日、16日、22日、30日
図書・雑誌の無料提供	保存期間切れなどの理由で除籍した図書や雑誌を正面玄関にて随時無料で提供しています。
問い合わせ	図書館 ☎62・3030

図書紹介

暑い夜……読書で涼しくなってみませんか？



新心霊探偵 八雲 赤目の呪縛

著／神永 学(講談社)

新たな相棒は、かつての自分……。なぜ記憶を失っているのか、見ているものは幻覚なのか、それとも……。幽霊によって引き起こされた連続不審死事件の調査に挑む！



3分後にゾッとするラスト

著／福井 蓮(汐文社)

なぞが解けたとき、本当の恐怖が訪れる！ストーリーの中に隠された謎と、その後に訪れる恐怖とは……。



意味がわかると怖い3分間ホラー

編／意味怖P(あかね書房)

ひとつの言葉の真意に気付くだけで、残酷な真意におどろく、バラエティに富んだホラーミステリーを44話収録。



怖いトモダチ

著／岡部 えつ(KADOKAWA)

16人の様々な証言をもとに、女の正体にせまる！女はいったい何者？読めば読むほど、謎が深まりゾッとするラストは頭から離れない……。

怖いのが苦手でも大丈夫！こわくないおばけの絵本



ひめさま！おばけもおばけこわいーでござる

著／丸山 誠司(光村教育図書)

姫様をおどろかそうと、全国から妖怪たちが集まりました。姫様がお化け屋敷に足をふみいれると、いろいろな方言の妖怪たちが！言葉の豊かさを感じるユーモアな絵本。



オバケや

絵／鈴木 のりたけ(小学館)

驚かせたりいたずらしたり、そんなオバケを捕まえるのが「オバケや」の仕事です。町の中や家の中には、どんなオバケがかくれているかな？

みなさんは、ホラー派？ サスペンス派？ ミステリー派？ それとも怖いのは苦手でしょうか？
8月は怖い本を集めたコーナーも設置していますので、ぜひご来館ください。

図書館イベント	内 容		
	日 程	時 間	場 所
おはなし会	季節に合わせた絵本や紙芝居などを用意しています。		
	9/28日(土)	10：30～11：00	児童コーナー

※ 図書館内にエアコンが装備され、快適に読書などができる環境づくりに努めています。読書や学習の場として、ぜひご利用ください。また、お越しの際は飲み物をご持参いただき、水分補給を行ってください。

にここカレンダー 9月

親子で遊べるスペースの無料開放や親子向けイベントなどを毎月開催しています。
お子さんと一緒にお気軽にご参加ください。

問 子育て支援課 ☎ 69・2226

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3 げんき 御影げんき PMげんき	4 げんき	5 げんき ベビマ PMげんき	6 げんき PMげんき	7
8	9	10 げんき 御影げんき PMげんき	11 げんき	12 健康相談 げんき ベビマ PMげんき	13 げんき PMげんき	14
15	16	17 げんき 御影げんき PMげんき	18 げんき	19 げんき ベビマ PMげんき	20 げんき PMげんき	21 ファミリー
22	23	24 げんき 御影げんき PMげんき	25 げんき	26 げんき ベビマ PMげんき	27 げんき PMげんき	28 おはなし会
29	30					

- げんきひろば**

親子の遊び場を無料開放
時間 9:30～11:30
会場 保健福祉センター
対象 0歳から未就学児
- 御影げんきひろば**

親子の遊び場を無料開放
時間 10:00～11:30
会場 御影改善センター
対象 0歳から未就学児
- ベビーマッサージ**

赤ちゃんの全身を優しく
マッサージして、発育や
情緒の発達をうながしま
しょう。
時間 11:00～11:30
会場 保健福祉センター
対象 概ね2カ月程度
料金 無料
持ち物
オムツ、バスタオル、
ベビーオイル
- 乳幼児健康相談**

乳幼児の身体測定、栄養
相談、歯科相談、健康相
談を予約不要でご利用で
きます。
時間 14:00～16:00
会場 保健福祉センター
対象 乳幼児
料金 無料
持ち物
母子手帳、オムツ、
バスタオル
- おはなし会**

絵本・紙芝居・エプロン
シアターなど親子で楽し
めるおはなし会を毎月開
催しています。
日時・会場
●9月28日(土)
10:30～11:00
図書館
- PMげんきひろば**

親子の遊び場を無料開放
時間 13:30～15:30
会場 保健福祉センター
対象 0歳から未就学児
- ファミリーデー**

親子の遊び場を無料開放
時間 9:30～11:30
会場 保健福祉センター
対象 0歳から未就学児
※要事前予約



Dear 城 みれいちゃん(6カ月)

いつも笑顔のみれいは、家の中を明るくしてくれて、パパとママとお姉ちゃんを癒してくれます。離乳食を食べるようになったので、モリモリ食べて、すくすく育てて欲しいです。みれいが生まれてきてくれて、家族みんな幸せです。

From パパ・ママ



※「HELLO BABY♥」では、6カ月から2歳くらいの赤ちゃんを募集しています。ご応募は、企画課広報広聴係(☎ 62・2114/メールはQRコードから)までご連絡いただくか、げんきひろばでお声がけください。

すくすくサポートBOX

子育てに関するサポート情報をご案内します。掲載しているQRコードから詳細をご覧ください。

こども園であそぼう

こども園の友達と一緒に遊んだり、保育活動を見学してみませんか。

日時・会場

▶ **しみず認定こども園**
9月18日(水) 10:00～11:00

▶ **御影こども園**
9月10日(火) 10:00～11:00

※ 参加には「げんきひろば」の事業登録が必要です。
※ 感染症の流行により中止になることがあります。

問 子育て支援課(子育て支援センター)
☎ 69・2226

育児用品の貸し付け

チャイルドシート、ベビーカー、ベビーラックを1年間無料でお貸しします。小学校就学前の乳幼児の保護者または養育者が対象で、乳幼児1名につき各1台までとなります。使用予定日の2カ月前から予約できますので、問い合わせ先へお申込みください。

▶ **持ち物** 身分証明書

※ チャイルドシートの貸出には運転免許証が必要となります。

問 子育て支援課 子育て支援係
☎ 69・2226

令和6年10月(12月支給分)から『児童手当制度』が変わります

申請が必要な人の受付方法などは、詳細が決まり次第ホームページなどでお知らせします。公務員の人は所属先にご確認ください。

問 子育て支援課 児童保育係 ☎ 69・2226

	令和6年9月分まで	令和6年10月分から
支給対象児童	中学校終了まで	高校生年代まで (18歳到達後の最初の年度末まで)
所得制限	あり	なし
手当月額	●3歳未満 → 一律 15,000 円 ●3歳から小学校終了まで 第1子・第2子 → 10,000 円 第3子以降 → 15,000 円 ●中学生 → 一律 10,000 円 ●所得制限以上 → 一律 5,000 円 ●所得上限以上 → 支給なし	●3歳未満 第1子・第2子 → 15,000 円 第3子以降 → 30,000 円 ●3歳から高校生年代まで 第1子・第2子 → 10,000 円 第3子以降 → 30,000 円
第3子以降の加算カウント方法	18歳到達後の最初の年度末まで	22歳到達後の最初の年度末まで ※進学・就職を問わず、児童を養育している場合はカウントの対象になります。
支払月	2・6・10月	12・2・4・6・8・10月

● 児童手当制度改正の概要

- 支給対象児童の年齢を「15歳到達後の最初の年度末まで」から「18歳到達後の最初の年度末まで」に延長。
- 所得制限、所得上限の撤廃。
- 第3子以降の手当額を月額 15,000 円から月額 30,000 円に増額。
- 第3子以降の算定に含める児童の年齢を「18歳到達後の最初の年度末まで」から「22歳到達後の最初の年度末まで」に延長。
- 支払い月を年3回から年6回に増加。





イベント & 講座紹介

毎月さまざまなイベントや講座を開催しています!! ぜひご参加ください!!



Event

普通救命講習Ⅰ

9月8日(日) 9:00～12:00

成人に対する心肺蘇生法、AEDの使用
方法、異物除去法や止血法などを学べま
す。家族や身近な人の万が一に対応する
ためにも、ぜひ受講してみてください。

会場 清水消防庁舎1階 消防団待機室

対象 中学生以上の町民 料金 無料

定員 10名 持ち物 動きやすい服装

申込 9月6日(金)までに問合せ先へ電話

問 清水消防署救急係 ☎62・2519

Lecture

お酒のおつまみ料理教室

9月13日(金) 18:30～

元北海道ホテル総料理長が十勝の
食材を使った、お酒に合うおつま
みを伝授します。



会場 文化センター調理実習室 対象 町民

定員 20名 料金 1,000円

講師 元北海道ホテル総料理長 工藤一幸さん

申込 8月26日(月)～9月4日(水)までに
問合せ先へ電話またはQRコードから

問 社会教育課社会教育係 ☎62・5115

Lecture

片付けのキホン講座

9月14日(土) 10:00～12:00

片付けのプロが講座受講後から
すぐにできる片付けのキホンを
教えてください。



会場 文化センター会議室1 対象 町民

定員 10名 料金 無料

講師 片付けクリエイター はせがわあかねさん

申込 8月21日(水)～9月6日(金)までに
問合せ先へ電話またはQRコードから

問 社会教育課社会教育係 ☎62・5115

Event

第33回郷土作家展 水彩画の世界

9月19日(木)～23日(月)
10:00～18:00 ※23日は15:00まで

会場 御影公民館 対象 町民 料金 無料

問 御影支所 ☎63・2111

Event

第38回町民絵画展

9月6日(金)～10日(火)
9:00～18:00

幼児から一般まで幅広い年代の
町民が描いた絵画作品をぜひご
鑑賞ください。



会場 文化センター ホワイエ 料金 無料

問 社会教育課社会教育係 ☎62・5115

Event

さんさんカフェ9月

町内飲食店で行うサロンです。特別メニュー
と交流イベントが楽しめますので、お気軽に
ご参加ください。65歳以上の人には各店で使える割引券をお配りし
ています。



対象 町民 料金 500円(税込) 定員 各店10人

申込 前日までに各店連絡先へ電話

問 保健福祉課在宅支援係 ☎69・2233

清水焙煎珈琲

13日(金) 11:30～13:30

メニュー▶おまかせ&コーヒー

連絡先▶本通5丁目3 ☎67・9430

ふるカフェ カマクラヤ

20日(金) 14:00～15:00

メニュー▶お楽しみデザート

連絡先▶御影東1条2丁目17 ☎67・7711

パーラー樹

19日(木) 13:00～14:00

メニュー▶おまかせデザート

連絡先▶南1条3丁目2 ☎62・2592

Event

「おしゃべりな写真館」 映画上映会

9月14日(土) 12:50～15:00
開場 12:30～

鹿追町を舞台とした映画「おしゃべりな
写真館」の上映会を行います。上映前には
監督・脚本をされた藤嘉行さんの挨拶を
予定しています。

会場 文化センター大集会室 対象 町民

料金 前売 800円(当日 200円増)
※中学生以下無料

申込 チケットを購入し、入場してください
チケット販売所
文化センター・御影公民館・新得町
公民館・芽室町中央公民館・鹿追町
民ホール・帯広市民文化ホール

問 社会教育課社会教育係 ☎62・5115

Event

女性のための教養研修

～北海道立近代美術館～

「皇居三の丸尚蔵館展
皇室の至宝 北海道ゆかりの名品」

10月12日(土)

出発予定時刻▶御影公民館前 7:00
文化センター前 7:30

帰町予定時刻▶文化センター前 17:25
御影公民館前 17:40

女性の地域活動、文化活動につながる教
養を深めるため、清水町女性団体連絡協
議会と共催した研修を開催します。

対象 成人女性(町民) 定員 20名(先着順)

料金 5,000円(見学費、昼食費、交通費)

申込 8月26日(月)～9月13日(金)まで
に問合せ先へ電話

問 社会教育課社会教育係 ☎62・5115

募集

あげます・ゆずってください

無償であげたい・ゆずって欲しいものを掲載しますので、問い合わせ先へご連絡ください。

受け渡しは当人同士でのやりとりとなりますのでご了承ください。

問 企画課広報聴係

☎ 62・2114

町長とのふれあいトーク

町政への要望など、町長と直接お話しできます。

電話、リモートでの対応も可能ですので、問い合わせ先へ事前にご連絡ください。

日時 9月5日（木）

リモートでの申込期限

8月29日（木）

問 企画課広報聴係

☎ 62・2114

「清水町地域福祉計画策定委員会」委員募集



ホームページ

目的	地域福祉の向上を目指した各種事務事業の推進を図るため、福祉に関心を持つ市民の参加を得て、より良い福祉社会の構築を目指した計画を策定する。
応募資格	・町内に住所を有する18歳以上の人 ・町が設置する他の審議会等の委員でない人 ・町の議会議員または職員でない人
募集人員	2名以内
委員任期	第1回策定委員会から計画策定終了まで
報酬	委員会に出席された際には、報償費として1,000円を支給します。
委員会開催	年3～4回開催（会議は平日の夜間を予定）
募集期間	9月6日（金）まで
申込	応募用紙に必要事項を記入してください。
応募先	〒089-0192 清水町南4条2丁目2番地 清水町役場保健福祉課福祉係（69・2222） ☑ fukushi@town.shimizu.hokkaido.jp

自衛官等募集

募集資格の年齢は採用時期によって異なります。詳細は同本部ホームページをご覧ください。

問 自衛隊帯広地方協力本部 ☎ 0155・23・8718



ホームページ

募集種目		募集資格	受付期間
航空学生		海上自衛隊 18歳以上23歳未満の者 航空自衛隊 18歳以上24歳未満の者	9月5日（木）まで
一般曹候補生（第2回）		18歳以上33歳未満の者	9月3日（火）まで
自衛官候補生			
防衛大学校学生	推 薦	18歳以上21歳未満の者	9月5日（木）
	総合選抜		～9月9日（月）
	一 般		10月17日（木）まで
防衛医科大学校医学科学生			10月9日（水）まで
防衛医科大学校看護学科学生 （自衛官候補看護学生）			10月2日（水）まで
予備自衛官補 （第2回）	一 般	18歳以上52歳未満の者	9月19日（木）まで
	技 能	18歳以上で国家免許資格等を有する者	

スポーツ大会 カメの子大会

● 第41回走ろうカメの子大会

・第1コース2km

（小学校低学年・50歳以上男女）

・第2コース3km

（小学校高学年・40歳代男女・

10～30歳代女性）

・第3コース5km

（中学校・高校・10～30歳男性）

● 第37回駅伝カメの子大会

1チーム5名で継走し、事前申告タイムと実走タイムの差を競います。

● 日時 10月14日（月）

・走ろう会

受付10時、競技開始11時15分～

・駅伝

受付8時15分、競技開始9時～

● 会場 清水小周辺周回コース

● 料金 300円（傷害保険料込）

● 申込期限 9月27日（金）

※申込書を町体育館まで提出してください

問 社会教育課スポーツ係

☎ 62・5115

お知らせ

秋の全国交通安全運動

9月21日から30日は「秋の全国交通安全運動」、9月30日は「交通事故致死ゼロを目指す日」です。

日の入り時間が早まる秋は、夕暮れ時や夜間に重大な事故が多発します。

子どもと高齢者をはじめとする歩行者の安全確保を図りましょう。

※歩行者用の反射材を町民生活課御影支所で無料配布しています

のでお申し出ください。

問 町民生活課住民活動係

☎ 62・1151

花火・火遊びによる火災防止

花火の使い方を誤ると火災や火傷などの事故につながりかねません。

十分注意して、夏の楽しい思い出を作りましょう。

また、子どもの火遊びによる火災は、大人がいないときに発生することが多く、発見が遅れ、火災が拡大する要因にもなるため注意しましょう。

● 花火を安全に遊ぶポイント

納税だより

税金は納期内に納めましょう。

納付には、確実に安心な口座振替をおすすめしています。

納期内の納付が難しいときは、問い合わせ先へご連絡ください。

● 今月の納期限 9月2日（月）

・町道民税（第2期）

・国民健康保険税（第2期）

問 税務課納税係 ☎ 62・1152

人権擁護委員の委嘱発令

次の人が、令和6年7月1日付

けで人権擁護委員として委嘱発令

（再任）されました。

● 氏名 伊藤香織（任期3年）

● 人権擁護委員とは

人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局職員と協力し、人権侵害による被害者の支援をしたり、人権に関心を持ってもらえるよう啓発活動を行っています。

● 町内の人権擁護委員

伊藤香織、猪早紀子、菅野靖洋、石橋祐仁

問 保健福祉課福祉係

☎ 69・2222

新たな北海道総合計画の策定

北海道庁では、北海道の更なる発展に向け、道民のみなさんや様々な関係者の方々と共に行動していくため、新たな総合計画を策定しました。

計画の内容を分かりやすくお伝えする出前講座も行っています。詳細はホームページをご覧ください。

問 北海道庁計画推進課

☎ 011・204・5630

ホームページ





／まちの未来を担う子どもたちに将来の夢や地元への想いをインタビュー／
今月号は清水町役場にインターンシップに来た清水高校生が編集した特別版をお届けします



自分たちも
町の魅力を
伝えていきます

宮間 健年さん
(清水高校2年生)

太田 玲亜さん
(清水高校2年生)

清水をミライにつなぐ vol.14
Connect to the Future of SHIMIZU

宮間さん … アイスホッケーを5歳から始め、小学生のときに清水高校の試合を観て、清水高校に入ろうと思いました。今目標にしているのは、アイスホッケーでの大学進学です。アイスホッケーを続けながら、いろいろなことを学び、どのような職業に就きたいのかを考えたいです。そのために、今は部活動と勉強どちらも中途半端にならず、やりきることを頑張っています。

将来は、周りの人のことを考えられるような「人間力」のある人を目指したいです。清水町は人がみんな温かくて優しく、人と人とのつながりが強いという面ではすごく良い町だと思います。若い人が町へ新しく入ってくるのが大切だと思うので、自分たちも町の魅力を伝えていきます。 (編集：太田)

太田さん … わたしには、生まれ育った清水町と関わって仕事をしたいという気持ちがあって、町役場の職員が将来の選択肢の一つなので、清水町役場のインターンシップに来ました。公務員になるためには、清水町を知って、興味を持つことが大切だと思っています。町のイベントなどには、積極的に行くようにしていて、今後はボランティアなどにも参加したいです。

将来は「応援される人」になりたいです。中学生のときの部活動の顧問の先生が「誰かが見ていないところでも手を抜かず、やるべきことをしっかりとやるのが大切」だと教えてくれました。その言葉がずっと心に残っていて、今頑張っている生徒会でも意識しながら活動しています。

2024年7月末現在 / Population

人口	8,810 人 (- 4)
男	4,389 人 (- 6)
女	4,421 人 (+ 2)
世帯	4,655 戸 (+ 6)

※ ()内は前月比

編集後記

今回、私も町の良さをあらためて感じました。みなさんにも、何か届くものがあるとうれしいです。(谷口)
今月も撮れ高120%でした。なるべく多くの写真を載せられる工夫をしています。(前道)
ミラ★つぐの取材を担当してみて、質問した内容をわかりやすく編集するのが難しかったです。今後、学校での資料作成などに役立たいです。(清高2年 太田)